

まず冒頭に、私の命を守っていただいた加藤庸子先生に心から感謝申し上げます。

私が脳動脈瘤を発見できたのは「ちょっとしたこと」がきっかけでした。大学を卒業して30年銀行勤務をしてから名古屋市内の会社に出向した時、銀行の補助があるうちに脳ドックでも受けておこうかと、簡単な気持ちで妻と二人で受けたところ私の脳に動脈瘤が発見されました。当時夫婦で青ざめたことを覚えています。母がくも膜下出血で他界しており、自分を重ねていました。

出向先の社長に加藤庸子先生という素晴らしい脳神経外科の先生がいらっしゃるから診てもらいなさいと言われ、「いつ自分の命は閉ざされるのだろうか」とそんなことばかり考えながら先生を訪ねました。先生の検査を改めて受けましたら、なんと、脳動脈瘤が2ヵ所あることが分かり、怯えましたが、加藤先生の「治るから」の一言で永遠の命を授かったような気持ちになり、今までの不安や絶望は何だったのだろうかと思えるほど気分が晴れやかになったことを今でも覚えています。

年に何回かの検査を受けながら2014年の秋に初めてコイルによる脳動脈瘤手術を受けました。今まで手術らしき手術を受けた事もなかった私ですが加藤先生の励ましに勇気を貰って左眼球の裏の脳動脈瘤手術は成功しました。こんなスッキリした気分は初めて味わう「快感」でした。その後、6年を経過観察し、2020年8月に2回目の手術をして頂きました。2回目ということもあったのか、手術はとても楽に受けることができ、当初「死ぬかと」思った脳動脈瘤も全て治して頂き、生まれ変わった爽快な気分です。この10年間加藤先生に出会えていなかったらと思うとゾッとしますが、今はただただ加藤庸子先生に心から感謝申し上げたいと思います。この気持ちは加藤先生にお世話になった患者であれば共通のものであることは間違いないでしょう。いつもいつも患者に寄り添って指導していただける加藤先生のような医師は世界中に果して何人いるのでしょうか？患者との繋がりを大切に思って頂き開催される友の会の行事はとても楽しく、特に旅行では「みなさん本当に脳の病気を持っていらっしゃるのだろうか」と疑いたくなるほど元気に楽しんでいらっしゃいます。人と人の繋がりはその後の人生に大きく影響しますね。

加藤庸子先生！いつも本当にありがとうございます。